

令和3年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立日宇中学校		作成者	職名	副校長												
電話番号	0956-31-2255			氏名	桃坂 靖												
1 年間の実施内容（取組状況・実績等）																	
4月	実施テーマ	「共に前へ」 不祥事ゼロ宣言															
<table border="1"> <tr> <td colspan="6">取組の評価・改善点</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <p>○教職員の綱紀の保持については、校長による全体指導や「職員室だより」により、定期的に問題提起を行い、教職員の不祥事根絶の意識を高めることができた。</p> <p>○自己目標管理シートへの「体罰によらない指導」の目標を設定させて、当初面談でも校長、副校長、各教職員の三者で確認ができた。</p> <p>○養護教諭をハラスメント相談窓口にしたことを職員に周知できた。ハラスメントの相談件数ゼロを達成できた。</p> <p>○運転免許証の有効期限の確認を行うことができた。</p> <p>○教職員にわいせつ行為防止のための自己分析チェックシートを渡し、時間を取って実施するように指導した。また、結果に応じて相談窓口の紹介も行った。全教職員実施終了の報告を受けることができた。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止に関わる指導・対策の徹底については、毎朝出勤時にも体温を計り、教職員一人一人が自分の体調管理を行うことができた。また、週案にマスク着用、換気、学習形態等を書き入れ、予防対策を意識して実践することができた。</p> </td> </tr> </table>						取組の評価・改善点						<p>○教職員の綱紀の保持については、校長による全体指導や「職員室だより」により、定期的に問題提起を行い、教職員の不祥事根絶の意識を高めることができた。</p> <p>○自己目標管理シートへの「体罰によらない指導」の目標を設定させて、当初面談でも校長、副校長、各教職員の三者で確認ができた。</p> <p>○養護教諭をハラスメント相談窓口にしたことを職員に周知できた。ハラスメントの相談件数ゼロを達成できた。</p> <p>○運転免許証の有効期限の確認を行うことができた。</p> <p>○教職員にわいせつ行為防止のための自己分析チェックシートを渡し、時間を取って実施するように指導した。また、結果に応じて相談窓口の紹介も行った。全教職員実施終了の報告を受けることができた。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止に関わる指導・対策の徹底については、毎朝出勤時にも体温を計り、教職員一人一人が自分の体調管理を行うことができた。また、週案にマスク着用、換気、学習形態等を書き入れ、予防対策を意識して実践することができた。</p>					
取組の評価・改善点																	
<p>○教職員の綱紀の保持については、校長による全体指導や「職員室だより」により、定期的に問題提起を行い、教職員の不祥事根絶の意識を高めることができた。</p> <p>○自己目標管理シートへの「体罰によらない指導」の目標を設定させて、当初面談でも校長、副校長、各教職員の三者で確認ができた。</p> <p>○養護教諭をハラスメント相談窓口にしたことを職員に周知できた。ハラスメントの相談件数ゼロを達成できた。</p> <p>○運転免許証の有効期限の確認を行うことができた。</p> <p>○教職員にわいせつ行為防止のための自己分析チェックシートを渡し、時間を取って実施するように指導した。また、結果に応じて相談窓口の紹介も行った。全教職員実施終了の報告を受けることができた。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止に関わる指導・対策の徹底については、毎朝出勤時にも体温を計り、教職員一人一人が自分の体調管理を行うことができた。また、週案にマスク着用、換気、学習形態等を書き入れ、予防対策を意識して実践することができた。</p>																	
7月	実施テーマ	「共に前へ」 当たり前のことを当たり前															
<table border="1"> <tr> <td colspan="6">取組の評価・改善点</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <p>○教職員の綱紀の保持については、夏季休業に入る前に校長が全体指導を行い、教職員の意識を高めることができた。</p> <p>○温床度チェックリストの実施については、時間を確保することができずに実施することができなかった。次年度はフォームズを活用して期間を決めて教職員の時間のあるときに入力、送信をしてもらう形をとっていかうと考えている。</p> <p>○情報セキュリティ対策に関する研修への参加については、市教育センター研修に全員が参加することができた。また、主幹教諭から定期的にセキュリティに関する注意喚起がなされ、管理職以外からも意識を高める声掛けがなされた。</p> <p>○安全運転の徹底、無免許、飲酒・酒気帯び運転の根絶については、副校長から職員会議時に指導を行うことができた。</p> <p>○部活動のガイドラインについては部活動担当から確認がなされ、指導の在り方については校長から部活動顧問に指導がなされた。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止に関わる指導・対策の徹底については、夏季休業中の部活動の開始前に健康観察、体温調査を行い、体調不良者は帰宅させることを徹底することができた。また、練習メニューや参加メンバーの把握についても徹底することができた。</p> </td> </tr> </table>						取組の評価・改善点						<p>○教職員の綱紀の保持については、夏季休業に入る前に校長が全体指導を行い、教職員の意識を高めることができた。</p> <p>○温床度チェックリストの実施については、時間を確保することができずに実施することができなかった。次年度はフォームズを活用して期間を決めて教職員の時間のあるときに入力、送信をしてもらう形をとっていかうと考えている。</p> <p>○情報セキュリティ対策に関する研修への参加については、市教育センター研修に全員が参加することができた。また、主幹教諭から定期的にセキュリティに関する注意喚起がなされ、管理職以外からも意識を高める声掛けがなされた。</p> <p>○安全運転の徹底、無免許、飲酒・酒気帯び運転の根絶については、副校長から職員会議時に指導を行うことができた。</p> <p>○部活動のガイドラインについては部活動担当から確認がなされ、指導の在り方については校長から部活動顧問に指導がなされた。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止に関わる指導・対策の徹底については、夏季休業中の部活動の開始前に健康観察、体温調査を行い、体調不良者は帰宅させることを徹底することができた。また、練習メニューや参加メンバーの把握についても徹底することができた。</p>					
取組の評価・改善点																	
<p>○教職員の綱紀の保持については、夏季休業に入る前に校長が全体指導を行い、教職員の意識を高めることができた。</p> <p>○温床度チェックリストの実施については、時間を確保することができずに実施することができなかった。次年度はフォームズを活用して期間を決めて教職員の時間のあるときに入力、送信をしてもらう形をとっていかうと考えている。</p> <p>○情報セキュリティ対策に関する研修への参加については、市教育センター研修に全員が参加することができた。また、主幹教諭から定期的にセキュリティに関する注意喚起がなされ、管理職以外からも意識を高める声掛けがなされた。</p> <p>○安全運転の徹底、無免許、飲酒・酒気帯び運転の根絶については、副校長から職員会議時に指導を行うことができた。</p> <p>○部活動のガイドラインについては部活動担当から確認がなされ、指導の在り方については校長から部活動顧問に指導がなされた。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症拡大防止に関わる指導・対策の徹底については、夏季休業中の部活動の開始前に健康観察、体温調査を行い、体調不良者は帰宅させることを徹底することができた。また、練習メニューや参加メンバーの把握についても徹底することができた。</p>																	

12月	実施テーマ	「共に前へ」 資質向上のための時間づくり
-----	-------	----------------------

取組の評価・改善点

- 教職員の綱紀の保持について、冬季休業に入る前に校長が全体指導を行い、教職員の意識を高めることができた。
- 体罰根絶に向けて事例研修を実施し、アンケートやワークシートを用いて、グループ討議をすることで生徒指導について見つめ直す機会を設けることができた。また、体罰事案の発生につながる要因が本校にはあるかどうかを見つめ直す機会にもなった。研修とは別に全教職員は「私の体罰根絶宣言」を書き、「体罰をしない、させない、許さない」心構えを再確認した。
- 安全運転の徹底については、慣れている道ほど危機意識をもって運転する必要があることを校長が職員朝会で指導し、注意喚起をすることができた。また、副校長が運転免許の有効期限が近づいている教職員に声を掛け、確実に更新をさせることができた。飲酒・酒気帯び運転の根絶については、特に年末年始の時期と飲酒翌日の午前中に気をつけるように指導し、注意喚起することができた。
- 公金処理の確認について、校長、副校長、教頭、主幹教諭で会計簿と通帳を考査して、処理が適正に行われていることを確認することができた。
- 週1回の定時退庁日の徹底については、部活動の練習場所確保の関係で統一日にしていないために、守れていない教職員がいた。毎日、定時退庁日になっている教職員を職員室に掲示し、声を掛ける等して対応していく。改善が見られない場合は、統一日にすることを教職員に周知する。
- 感染症拡大防止に関わる指導、対策の徹底については、冬季休業後の感染拡大に備えて、学びを止めない対策を考え、準備しておくように教職員に周知した。

2 服務規律委員会

委員会名	佐世保市立日宇中学校服務規律委員会
構成員	所属内委員（9名）、外部委員（1名 役職等：PTA 会長）

3 年間を通しての計画の達成状況

年間を通しての取組状況チェックリスト

(1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。（複数回答可）

ア	イ	オ	カ	キ	ク	ケ			
その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）									

(2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。
※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。

<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 少し不十分	<input type="checkbox"/> できなかった
---------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------

(3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。

<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 少し不十分	<input type="checkbox"/> できなかった
---------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------

(4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。

(○) できた () 概ねできた () 不十分だった () 実施していない

資料添付

有

無

別表 | 校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）

校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。

校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。

【工夫（例）】

ア 運営の工夫

- ・管理職員の指導中心の研修から、服務規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。

イ 具体的な事例の紹介

- ・県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。

ウ 外部講師を招いての講話

エ 体験的な研修

- ・ロールプレイを取り入れる。

オ グループ討議

- ・小グループに分かれての事例研究、討議を行う。
- ・「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。

カ ワークシートの作成

- ・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。

キ チェックリストを作成

- ・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。

ク ファイリングして保存

- ・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。

ケ 決意表明

- ・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。

コ 職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組

- ・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。